

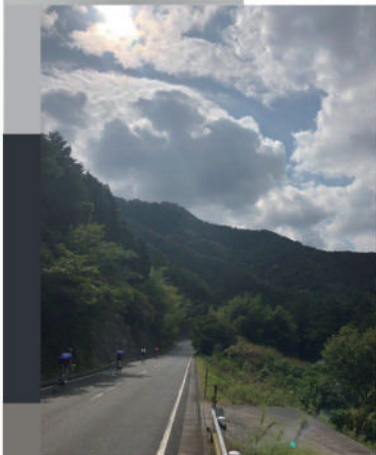


つなげよう、
支えよう
森里川海

泉北環境整備施設組合は
このプロジェクトに賛同しています



泉北30万市民で 環境にやさしい
地域循環共生圏を！



自然環境と
わたしたちの暮らし

泉北環境整備施設組合
泉大津市・和泉市・高石市の
環境事業に取り組んでいます

<http://www.senbokukankyo-ichikumi.org/>
〒594-0001 大阪府和泉市舞町87番地
TEL:0725-41-2030 FAX:0725-41-2115

森里川海は、なぜ大切なのか？



廃棄物処理行政から見た『森里川海』

廃棄物処理行政の視点から、森里川海を見つめた時、注目すべきは、ごみが自然に及ぼす影響でしょう。

「海洋プラスチック問題」という言葉を最近耳にすることが多くなったと思います。これは、きちんと処理されず、自然環境中に流出したプラスチックごみが、河川などを経て、海へ流れ着き、堆積し続けているという問題です。既に世界中で存在しているプラスチックごみの量は合計で1億5000万トンとも言われ、さらに年間約800万トンが新たに流出しているとみられています。これらのプラスチックごみが海の生態系に影響を与えています。

例えば廃棄された漁網に絡まったり、ポリ袋などを餌と間違え食べてしまうことで、死んでしまう動物もたくさんいます。



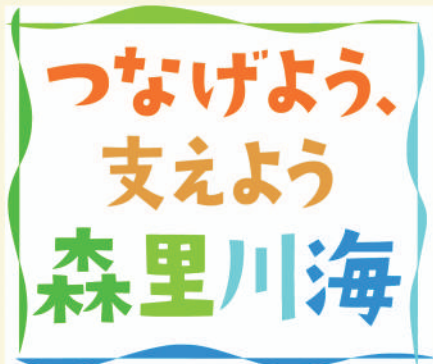
また、森里川海に直接影響を及ぼす「地球温暖化」についても着目しなければなりません。日本ではごみの多くを焼却し、灰にして体積を減らした上で、埋立処分しているのが現状です。本組合でもそれは同様であり、ごみが排出される限り、切り離すことが出来ません。

焼却時に発生する二酸化炭素は少しずつですが、確実に温暖化を進行させます。

我々は、ごみの4Rを推進することで、ごみの発生を抑制、回避しこれら森里川海を取巻く問題を改善できるよう取り組む所存です。



環境省「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト



「つなげよう、支えよう森里川海」
プロジェクト シンボルマーク

「森里川海を豊かに保ち、その恵みを引き出すこと」「一人一人が、森里川海の恵みを支える社会をつくること」を目指し、環境省は「つなげよう、支えよう森里川海」と銘打って、省内にプロジェクトチームを立ち上げました。

「つなげよう、支えよう森里川海」という名には、「森里川海を保全し、それぞれをつなげる」という意味が込められていますが、森里川海だけでなく、それらに関わる「人」もつなげていくことが大切です。

私たち一人ひとりが意識や行動を変えていくことで、森里川海を支えることができます。買い物をするときは、人や環境にやさしいものを積極的に選んだり、休日は森里川海の中でゆったり過ごすなど、身近なことから始めてみてください。

環境省ホームページより

詳しい活動は 環境省
つなげよう、支えよう 森里川海プロジェクト
ホームページをご覧ください

泉北クリーンセンターは ごみの減量と4Rで森里川海の保護を目指します

令和元年 9月24日

「つなげよう、支えよう森里川海」 プロジェクト賛同

本組合の事務である、ごみ処理場、し尿処理場及び王子川都市下水路を安全かつ適正に維持管理していくためには、ごみの減量、4Rを推進し、低炭素社会、資源循環型社会の形成に向けた取組は必要不可欠で、これらの実施は地域の自然環境の保護や共生と密接に結びついており、生活圏の共有が多く見受けられ、さらに自然環境においても、組合市単独では存在しないものを補完しあっています。

そこで、本組合が進める4Rを、今まで以上に効果的に実施し、かつ、市民に認知していただく手段の一つとして、すでに森林環境税を導入している大阪府等と連携しながら、本組合が主体的に「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトに関連する事業を展開し、組合三市と協力し、組合市30万市民共生圏において自然環境と共生の推進を目指します。



令和2年 1月24日

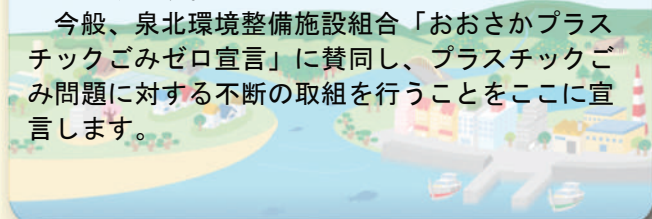
泉北環境整備施設組合 プラスチックごみゼロ宣言

プラスチックごみゼロ宣言を行いました。宣言内容は次のとおりです。

私たちの日常生活に不可欠なプラスチックですが、街の中で不用意に捨てられることで川から海へと運ばれ、海の環境や生態系に深刻な影響を与えています。このような海洋プラスチックごみを少しでも減らすために、ポイ捨て防止・使い捨ての習慣の見直しとともに、正しい分別や処理による積極的な再利用が求められています。

泉北環境整備施設組合は、泉大津市・和泉市・高石市の市民の協力と各市におけるごみ有料化等の成果もあり、その焼却量において大幅な減量を達成しています。さらに、資源ごみの有効利用を進めるため、資源化センター「エコトピア泉北」において、容器包装プラスチックの処理に取り組み、成果をあげてまいりました。引き続き、更なるごみの減量化及び4Rの推進と低炭素社会、資源循環型社会の形成に向けた取組を積極的に進めてまいります。

今般、泉北環境整備施設組合「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」に賛同し、プラスチックごみ問題に対する不断の取組を行うことをここに宣言します。



施設紹介



泉北クリーンセンター



ごみ焼却施設
処理能力：150t/日
×2炉

可燃性粗大ごみ処理施設
処理能力：18t/日(5h)

不燃性粗大ごみ処理施設
処理能力：22t/日(5h)

泉北クリーンセンターは、泉大津市、和泉市及び高石市から発生した可燃ごみ、粗大ごみを処分する施設です。

可燃ごみは、焼却炉で完全燃焼させ、発生した排ガスは公害防止機器によって、有害物質、有害ガスを除去しています。

粗大ごみは破砕機で砕いた後、再資源化可能な物質を回収し、残渣を焼却処分します。

環境保全対策とごみの減量に力を入れる地域と環境に根差した施設となっています。

POINT①

サーマルリサイクルの実施

ごみの焼却熱から、温水を作ったり、発電することが出来る設備を備えています。これらは、本施設内で使用するほか、近隣施設に供給したり、売電による運営費の低減につながっています。



POINT②

再資源化できるものの回収

施設に運び込まれた粗大ごみの中から、再資源化できるものを回収しています。製品内に含まれる金属類も、破砕機と磁選機を用いて無駄なく回収します。これらは、リサイクル業者に売却され、利益は運営費に充てられます。また、再利用可能な家具等については、清掃し、必要とされる方に抽選で無料提供しています。



エコトピア泉北



対象ごみ：
缶、ビン、乾電池類、
せともの、ガラス類、
ペットボトル、トレイ、
プラスチックボトル及び
プラスチック製容器包装

処理能力：25t/日(5h)
(缶・ビン 17t/日)
(プラ容器 8t/日)

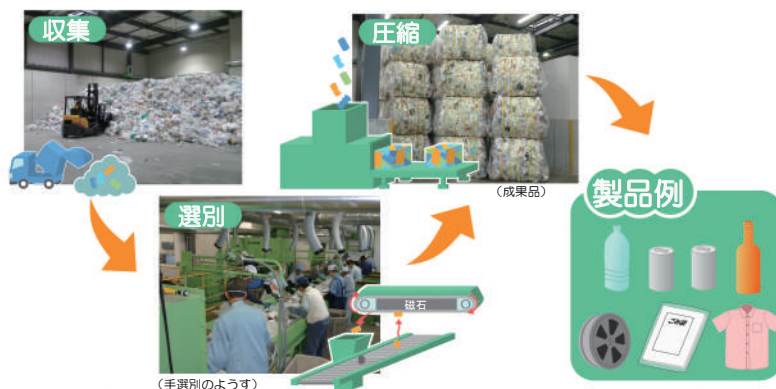
エコトピア泉北は、資源ごみの中から、缶、ビン、ペットボトル、プラスチック製容器包装等を選別し、リサイクルを推進する施設です。

限られた資源を有効活用し、持続可能な社会を目指すとともに、「循環型社会の形成に貢献する施設」・「安全、環境、経済性に配慮した施設」・「地域と共生する施設」の3つの方針を掲げ、周辺環境に配慮し様々な対策を施した、環境にやさしい施設となっています。

POINT

再資源化の推進

収集されてきた資源ごみは、ストックヤードに集められ、順次選別用のコンベアに送られていきます。次いで手選別や磁選機等の機械により選別され、圧縮梱包機により成形されます。これを「成果品」と呼びます。成果品は、種類ごとにリサイクル工場へ出荷され、新たな製品に生まれ変わります。



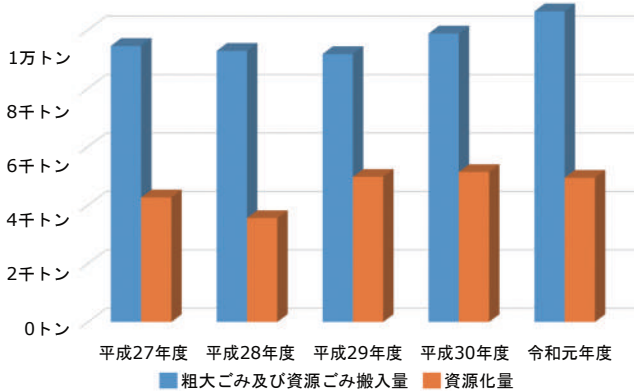
資源化の取組

有価物・無価物の回収

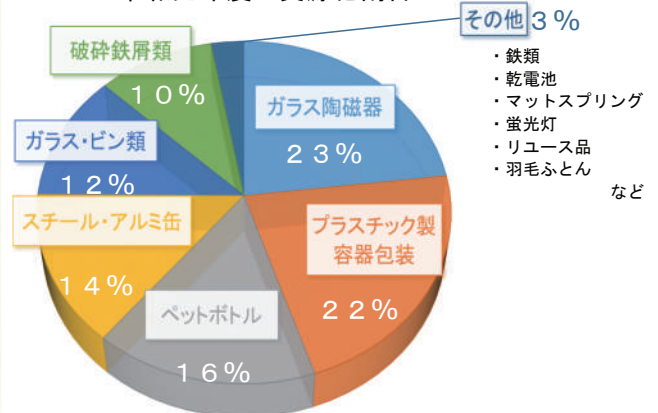
泉北環境整備施設組合では、持続可能な循環型社会の構築を目指し、市民の皆さまにごみの減量、分別にご協力いただきながら廃棄物の適正処理と再資源化に努めています。例えば、資源ごみは分別収集されたのち、エコトピア泉北でさらに細かく品目ごとに分別され、再資源化されます。また、資源ごみとして回収収集されたごみ以外からも資

源物の回収を行っております。粗大ごみとして搬入されたごみを細かく破碎し、金属類など再資源化可能な物を回収するほか、リユース品の無料提供事業も展開しています。これらの取組により、令和元年度は約5千トンが再資源化され、ごみの発生を抑えることができました。

粗大ごみ及び資源ごみ搬入量と資源化量



令和元年度 資源化割合

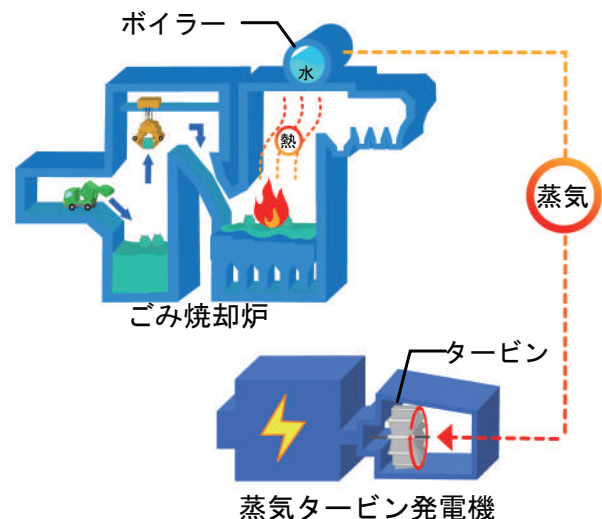


余熱を利用した発電

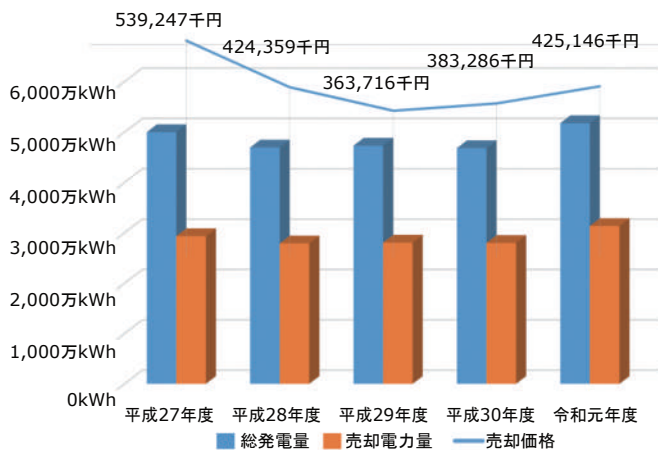
泉北クリーンセンターでは、ごみ焼却時に発生する熱を利用し、蒸気タービンによる発電(定格出力9,300kW)を行っています。市民の皆さまの適正なごみ分別と、ごみの水切りなどの活動に支えられ、平成25年度～平成27年度のごみ1トン当たりの発電量が全国1位になるなど、優秀な発電成績を収めております。発電により得た電気は泉北クリーンセンター内で使用するほか、電力会社に売却するなど、有効利用されます。

発電のしくみ

ごみを焼却炉で燃やした際に発生する熱を利用して、ボイラー内部の水を熱し、蒸気を発生させます。発生した蒸気は、蒸気タービン発電機に送られ、その力でタービンを回転させ、発電することができます。



総発電量、売却電力量及び売却価格



泉北環境整備施設組合・泉大津市 ・和泉市・高石市の環境活動



きれいにしよか！
いずみおおつ

平成30年9月から、ごみ拾いSNSアプリPIRIKAとその管理ウェブページ「キレイにしよか！いずみおおつ」の運営を開始しました。

いつ・どこで・だれが泉大津市内でごみ拾いをしているかがリアルタイムに分かるようにすることで、ごみ拾いの「見える化」を進めています。

拾ったごみの写真を投稿することで、他のユーザーから「ありがとう」が贈られるなど、ごみ拾い活動の環が広がっています。



PIRIKA

ダウンロード用
QRコード



海洋ごみについて知ろう！

スポGOMI大会inいずみおおつ

『スポGOMI』とは、ごみ拾いにスポーツ的な要素を入れ、誰でも楽しくまちのごみを拾うことができるスポーツ競技で、海洋プラスチックごみについて知ってもらうきっかけとして開催しています。

日本で生まれたこの競技は、今や海外にも広がっています。



マスコットキャラクター
おづみん

承認番号 ©泉大津市おづみん#0287



泉大津市



夏休み
宿題 & 自由研究
やっちゃおう！

夏休みの宿題や自由研究として、工作教室を開き、その中で空きびんやペットボトル等の廃材を利用することで、子どもたちにごみの減量や4Rを身近に感じていただくことを目的とする「夏休み宿題&自由研究やっちゃおう！」を開催しています。



マスコットキャラクター
とろすけ



泉北環境
整備施設組合



おゆずり
バザール

ごみの減量・再資源化による自然環境の保全と、地域の子育て世代の支援を目的として、市民の皆さまから提供いただいた子ども服を、必要とする方に無料提供する「おゆずり☆バザール」を年2回開催しています。

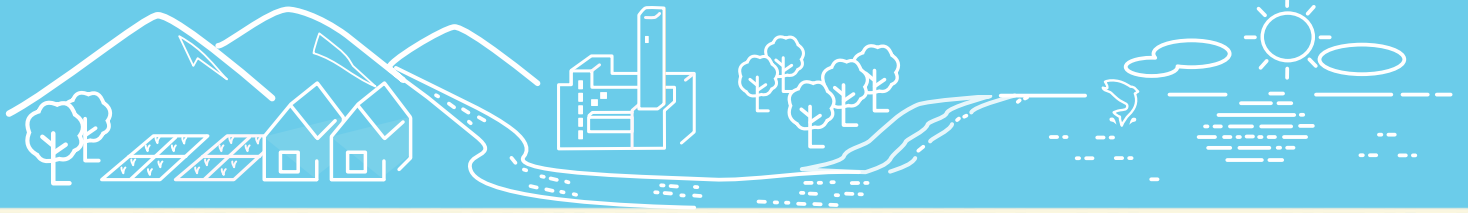


家具等リユース品

無料抽選会

平成26年からリユース事業の一環として、搬入される粗大ごみの中から、まだまだ使える家具などを選別し、きれいにした上で市民の皆さまに提供する「家具等リユース品無料抽選会」を開催しています。





高石漁港での稚魚放流

高石市漁業協同組合主催で、地元高石市の幼稚園児や小学生が参加のもと、キジハタなどの稚魚を放流しています。

また、講師を招き、参加者に向けた魚の生態系の解説も行われるため、環境について学ぶことができます。



芦田川ふるさと広場

平成30年に緑と水に親しむことができる空間、「芦田川ふるさと広場」が完成しました。

完成までには、ワークショップや現地調査、意見交換が市と市民の間で重ねられ、広く高石市民に愛されるように、公民協同で作り上げた広場です。

また、現在でも市による広場の管理以外に民間団体による桜の植樹活動や市民ボランティアによる景観保全が行われるなど、公民協同の活動は続いています。



高石商工会議所
マスコットキャラクター
てんにょん
承認番号 第25069号



高石市

水辺の自然観察会

講師の先生を招き、市民参加による水生生物の調査・観察会を毎年実施しています。

調査結果は、環境省が実施している全国水生生物調査に報告しており、都市部ではあまり見る機会のない、清流に生息するタカハヤなどの魚類も確認されています。



和泉市



イメージキャラクター
コダイくん・ロマンちゃん

承認番号 和泉市コダイくん・ロマンちゃん第168号

自然環境調査

毎年、和泉市内の自然環境、動植物等の生息状況を調査しています。市内には、大阪府レッドリスト2014において、絶滅危惧種Ⅰ類に指定されている希少な動植物等が生息しています。

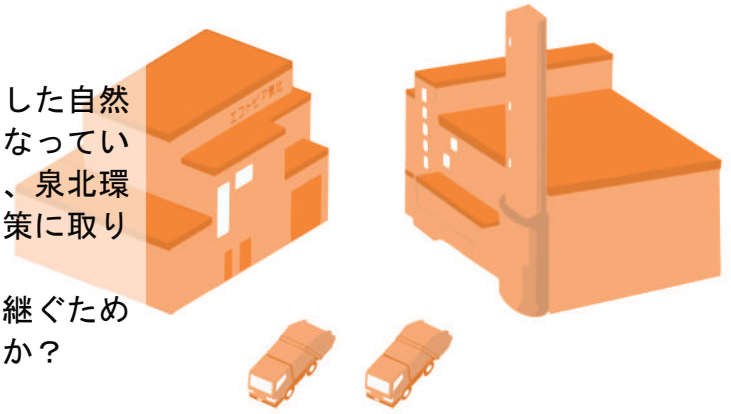
多種多様な動植物等の生息状況について毎年調査し、市民の皆さまに公開することで、自然への意識向上を図ることを目的としています。



一人ひとりができる ごみ減量の取組

近年、海洋プラスチック問題など、ごみに起因した自然環境の汚染問題が取り上げられることが多くなっています。世界的に注目度の高いこれらの問題に対し、泉北環境整備施設組合は、市民の皆さまと手を携えて対策に取り組んでまいりたいと考えております。

美しい自然の恵みを、将来の子どもたちに引き継ぐために、身の周りの小さなことから、始めてみませんか？



1 エコバッグの使用

2020年7月から、プラスチック製レジ袋が有料化。例えば1枚5円でも毎日使えば、1年で1,825円になります。エコバッグを使って、環境とお財布にやさしい買い物を。

2 環境ラベル商品を選ぶ

環境保全に役立つと認められた商品に付けられたラベルです。同じ商品でも、環境にやさしいものを選びたいですね。エコマーク

グリーンマーク

3 詰め替えて使う

シャンプーや衣類用洗剤など、いまや家庭で消費する製品のほとんどに詰め替え用が存在します。ひと手間かければ、ごみの減量に繋がります。

4 生ごみの水切り

生ごみの約80%が実は水分です。水切りネットなどを使えば、ごみの体積が小さくなります。捨てる前に乾燥させれば、さらに効果抜群！

5 バザーの活用

あなたにとって不要なものを、誰かが必要としているかも。その逆もありませんね。まだ使えるものを、必要とする人の手に。一番のエコかもしれません。

6 フードロスの削減

環境省の平成29年度推計によると、日本の年間食品ロスは612万トンにもなります。必要な量だけ買って、残さず食べて、もったいないを無くしましょう。

My 行動宣言

自然を守るために
あなたが出来る行動を
ここに書いて
実行に移してみよう！



- ① 泉北クリーンセンター煙突 ② 南海高師浜線 ③ 黄金塚古墳周辺 ④ キジ
- ⑤ カワセミ ⑥ 大津川 ⑦ 和泉市から見た星空 ⑧ フタスジサナエ ⑨ アオスジアゲハ
- ⑩ カスミサンショウウオ ⑪ 和泉市の田んぼ ⑫ ホタルブクロ ⑬ トキソウ
- ⑭ 和泉市の山 ⑮ 高師浜 ⑯ 泉北クリーンセンターのひまわり ⑰ 泉大津漁港